

大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター

看護部長 若林 榮子様

職員教育と情報発信をめざして

インタビュー：スキルインフォメーションズ株式会社
医療コンサルティング部 松本 満廣

本日は、大阪府立成人病センター 看護部長の若林榮子様にもディカルナイスナレッジを採用され目指されているところをお聞かせいただきたいと思います。



レッジのeラーニングの機能を使ってやってゆけばメリットが大きいのではないかと思ったわけです。

考えられたメリットは何ですか？

はじめは教育ですね

今回ディカルナイスナレッジを導入された目的は何ですか？

若林 第一の理由は、新採用者教育だったんです。看護の質を高めるため7対1の入院基本を目指し、本年看護師を大量採用をしたわけなんです。この人たちの看護技術教育をどのようにしてゆか大きな課題だったわけです。5、6年前に新人の集合教育を始めたのですが、それまでの基礎技術は30名いたら現場で30回同じことをやって教えていたのを集合教育で全員を集めて教育するようになったのです。集合教育でできることは4項目か5項目しかないのですが、現場で個々に教えるのに比べてかなり効率があがったり、教育のバラツキがなくなってきたのです。集合教育で学んだことを現場に持ち帰って、実際の技術を実践してみるという教育プログラムを確立してきたのです。この集合教育のところを、ディカルナイスナ

若林 ひとつ目は、時間と場所を選ばずに学習できることですね。集合教育に比べて学習の自由度というか時間の有効活用ができる機能がいいですね。2つ目は、学習内容が均一化できることですね。教える人によってのバラツキや教え忘れがなくなります。3つ目は、映像や画像を使ってより理解が深まることを期待しています。4つ目は、学習の結果が客観的に評価できることですね。学習問題をやってもらいその得点である程度客観的に評価できるのです。

教育コンテンツの作成

教育コンテンツの作成はどのように進められましたか？

若林 まずは、教育担当の副看護部長を責任者にして、作成担当者2名選出をしてもらいました。特に技術に秀でている副師長クラスに作成をお願いしています。教材の内容は、新採用者が直ぐ

Interview

に必要になって、何処へ配属されても必要な技術を選びました。「真空採血管による、静脈血採血」を第一の教材として作成を始めてもらいました。

どのような流れで、作成されましたか？

若林 病棟で使っている既存のマニュアルをメディカルナイスナレッジの構造化マニュアルにコピーするところから始めました。構造化マニュアルに記述してみると、内容の不足や事実に基づく記述でないことなどが分かり、詳細に調べて書き直してくれました。手順に医療安全や患者様への接遇まで配慮された技術手順ができました。次は、「読んでもらえる」そして「理解してもらえる」ようにするために、動画や写真などのマルチメディアをマニュアルの中に入れ込んで行きました。

手順	必要な知識・能力	医療安全の確保	患者への説明・経過	採血のコツとその判断
1. 患者の準備とシリンジの注				
2. 採血管を患者に装着する	<ul style="list-style-type: none"> 採血管を採血の位置に挿入する 採血管の先端は皮膚から約2cmの位置に挿入する 採血管の先端は皮膚から約2cmの位置に挿入する 採血管の先端は皮膚から約2cmの位置に挿入する 	<ul style="list-style-type: none"> 採血管の先端は皮膚から約2cmの位置に挿入する 採血管の先端は皮膚から約2cmの位置に挿入する 採血管の先端は皮膚から約2cmの位置に挿入する 採血管の先端は皮膚から約2cmの位置に挿入する 	<ul style="list-style-type: none"> 採血管の先端は皮膚から約2cmの位置に挿入する 採血管の先端は皮膚から約2cmの位置に挿入する 採血管の先端は皮膚から約2cmの位置に挿入する 採血管の先端は皮膚から約2cmの位置に挿入する 	

マルチメディア化は慣れておられたんですか？

若林 今までの規定書や手順書にもデジカメで撮影した写真を入れて分かりやすいものにしていたので、静止画は撮影も編集も慣れていました。しかし映像には少し手間取りました。ビデオ撮影は、家庭でもやったことがあると思いますが、編集はやったことが無かったので、病院の中で詳しい人を見つけて編集のコツを教えてくださいました。

教育も楽しくなければダメですね

マルチメディア化は理解の促進だけですか？

若林 マニュアルを使って知識吸収する人たちにとっ

て「楽しくなければ」ダメだと思っています。楽しく学習してこそ、技術が身につきますし長続きもします。楽しくなければ「やらされている感」ばかりで、辛いですよね。教材を作ってくれた副師長にしても、楽しく勉強してもらおうと、分かりやすい解説や教材づくりに向けて頑張ってくれましたね。

こう言っでは失礼かもしれませんが、作成を担当された副師長さんたちも楽しそうでしたよ。

若林 新採用者にも理解してもらえる教材を作るのだという意気込みもあり、モチベーションも高く保ってくれたと思います。新しいことに取り組む姿勢の高い人々を選んだこともあります。一般的に高い技術を持っている人ほど、教えるのも上手ですし楽しく話してくれますね



楽しく作成して、楽しく学習して、楽しくディスプレイスアクションする。素晴らしいですね

若林 新採用者教育用ということで、今あるマニュアル記述を見直して、かなり詳細に調べなおしてもらいました。この例を2点聞いています。

- ・感染予防の観点より採血ホルダーは使い捨てにしていたのですが、使い捨てにする理由を全員へ周知するのにスタッフは苦労していました。今回の教材に使い捨ての理由を明記して、使い捨てにすることを理解していないと回答できない学習問題をやらしてもらいました。これで根拠に基づいた技術の実践に結びつけられました。

- ・採血を行う場合、複数のスピッツ管に血液を採取することがありますが、予めスピッツ管には検査目的に応じた薬剤が封入されています。これらの挿入順序をまちがうと検査結果に影響することがあります。どの順番がもっとも適しているか、教科書やメーカー

Interview

からの資料を調べなおして写真入りで記載してもらいました。



確実な周知徹底と省力化

教育以外で期待される効果は何ですか？

若林 教育にも関連しているのですが、みんなに知ってほしいことを周知できることと、マニュアルの適正な管理ができることですね。安全マニュアルでも、感染マニュアルでもマニュアルを変更したとき全職員に周知して欲しいのですが、今まではこれの確認のしようが無かったんですね。また、改定したマニュアルは担当者がコピーして全ての拠点に出向いて差し替えを行っていたのですが数十冊あるマニュアルを全て差し替えるには、大きな労力と経費をかけていたわけですね。更新が一斉にできて履歴管理ができるというのを見たとき、「これだ！」って思いました。

これを使って、読んでもらえるマニュアル作りと確実な周知徹底を大きな労力やコストの増加をさせずに実現させてゆくことができます。



ガン看護技術の情報発信ですね

期待が膨らみますね、他に目指しておられるところがありましたらお聞かせください。

若林 この病院は日本でも屈指のガン治療を行っていて、専門性の高い特有のガン看護技術を実践しているのですが、院内でこの技術の伝承はもちろんのこと院外へ情報発信をしてゆかなければならない使命があると思うのです。現在は、ガン看護技術の院内教育を公開にして院外の人たちにもこの技術を習得してもらえるようにしているのですが、個々人が持っているノウハウも形式化して院外へもっと情報発信をしてゆきたいし、これがこの病院の使命でもあると考えているのです。

そうですね。実践されている高度なガン看護の技術を病院の財産として残してゆく、そして公共病院の使命としてこれら特有の技術を情報発信してゆく必要があるのでしょうかね。

若林 例えば、訪問看護ステーションなどで在宅のガン患者さんを看ている看護師さんたちにも、この病院の看護技術を学んで利用して欲しいのです。

そうですね。こちらは急性期病院で後の連携として療養型病院とか在宅を支援している訪看、クリニックなどの施設で働く人たちにもこの病院で培われた高い看護技術が利用できるといいですね。

若林 こういう良いツールがあると、今まで諦めていたようなことも、実現性を帯びてきてどんどん広がってゆくんです。患者さんからの要望に

Interview

あったのですが、「自分の受ける治療や看護の実際を映像で見たい」と言われています、患者さんへの情報提供にも使ってゆけるのではないかと考えています。



ますます、夢は広がってゆきますね。
本日は、お忙しい中、大変有り難うございました。

2007年4月

eラーニングの学習効果

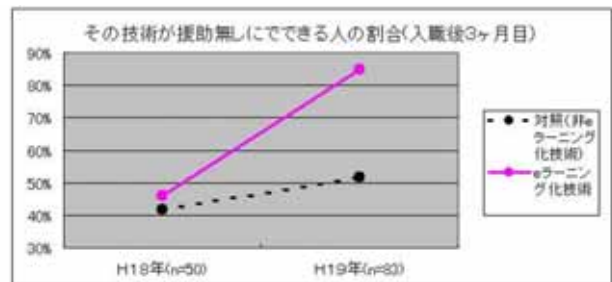
メディカルナイスナレッジをeラーニングとして使用開始後、3ヶ月して効果が見えてきました。

効果測定:

毎年、入職後一定期間ごとに各技術の習熟度を一人で行えるかどうかで判定しています。本年eラーニングで学習してもらった静脈血採血の教材には「針刺し事故防止」が含まれています。

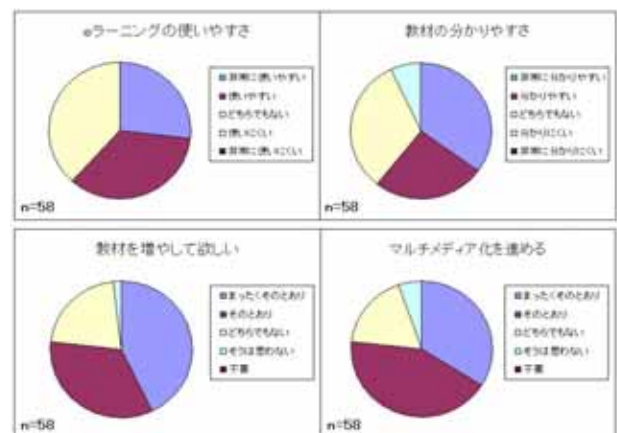
この針刺し事故防止が一人で行えると評価された人の割合を昨年にこの技術と同様の割合を示した技術を対照にして本年の習熟度で比較しました。

グラフでわかりますように、eラーニングで学習した技術は習熟度が劇的に改善しました。これがeラーニングだけの効果であるとは言いきれませんが、大きなウエイトを占めているのは確かです。



受講者アンケート:

本年のeラーニング受講者にアンケートを取りました。この結果「使いやすさ」、「分かりやすさ」は60%を超える人が高い評価をして、教材を増やしてマルチメディア化を進めることには75%を超える人より支持を得ています。特筆すべきは、35%を超える人がマニュアルや教材の作成に参画してゆきたいと答えたことです。



2007年医療情報学会向け論文発表資料より抜粋

2007年10月

医療機関版

「ナレッジマネジメント」支援アプリケーション

MEDICAL
メディカルナイスナレッジ
NICE KNOWLEDGE
マニュアルを医療改革ツールとして

メディカルナイスナレッジ®はスキルインフォメーションズ株式会社の登録商標です

お問合せ先



Skill Information"S Co., Ltd.

スキルインフォメーションズ株式会社

医療コンサルティング部

TEL: 0120-06-4199 (06-6320-4199)

http://www.sic-net.co.jp Mail:mc-info@sic-net.co.jp